令和9年度（10月進学第Ⅰ期）

神戸大学大学院農学研究科
博士課程後期課程進学者選考要項

※重要

本研究科では Web 出願を導入しており，出願書類の提出の前にオンラインでの出願登録が必要です。Web 出願には，パソコンやプリンター等の機器，メールアドレスと顔写真データが必要になります。検定料の支払い方法，書類の提出方法等を十分確認のうえ，時間には余裕を持って出願を行ってください。なお，Web 出願時に登録されたメールアドレスには，大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので，日常的に確認できるメールアドレスを登録してください。

外国人留学生で受験を希望される方は，出願前に必ず指導希望教員に連絡をとってください。

GUIDELINES FOR APPLICATION
THE DOCTORAL COURSE

Graduate School of Agricultural Science
KOBE UNIVERSITY
Term Ⅰ, 2027
(Starting in October, 2027)

令和9年度(10月進学第Ⅰ期)
神戸大学大学院農学研究科博士課程後期課程
進学者選考要項

1. 専攻及び募集人員

専　　攻	募 集 人 員
食料共生システム学専攻	若干人
資源生命科学専攻	若干人
生命機能科学専攻	若干人

(注) 募集人員には入学者，外国人留学生及び社会人を含む。

2. 出願資格

令和9年9月に神戸大学大学院農学研究科博士課程前期課程及び本学他研究科の修士課程，博士課程前期課程又は専門職学位課程を修了する見込みの者

3. 出願手続

(1) 出願期間及び出願方法

次の①および②の両方の手続きが必要です。

①Web出願サイトでの出願登録

＜Web 出願サイト https://e-apply.jp/ds/kobe-u/＞

出願登録期間：令和9年2月8日（月）0：00から2月15日（月）16：59まで

出願登録は別紙「Web出願の流れ」を参照し，出願書類を提出する前に行ってください。**（本募集は「進学者選考」のため検定料の支払いは不要です）**

Web 出願サイトの出願登録時に「農学研究科博士課程後期課程」選択後に表示される入試区分は**「農学研究科-博士課程後期課程 一般選抜 １０月進学 第Ⅰ期」**を選択してください。

Web 出願サイトの指示に従い，出願情報を登録するとともに，以下の【出願書類一覧】のうち**「Web出願サイトでの手続」が○となっている書類をWeb出願手続・アップロード**してください。

Web 出願サイトへの通信に問題がある場合は，神戸大学大学院農学研究科教務学生係(ans-kyomu@office.kobe-u.ac.jp)に問い合わせてください。

②出願書類の提出

以下の【出願書類一覧】のうち「書面による提出」が○となっている書類は窓口持参または郵送により提出してください。

出願期間：令和9年2月8日（月）から2月15日（月）まで

【窓口持参の場合】

・受付時間:平日9:00～12:00，13:00～17:00

・Web出願サイトの出願登録完了後，Web出願サイトのマイページに表示される「入学願書」の3ページ目「出願用宛名用紙」を印刷し，以下【出願書類一覧】の書面による提出書類とあわせて提出してください。

【郵送による場合】

・令和9年2月15日（月）消印有効

・Web出願サイトの出願登録及び検定料の支払い完了後，Web出願サイトのマイページに表示される「入学願書」の3ページ目「出願用宛名用紙」をカラーで印刷し角２サイズの封筒に貼りつけて，以下【出願書類一覧】の書面による提出書類を書留速達郵便で出願期間内に送付してください。

(2) 出願書類提出先

神戸大学大学院農学研究科教務学生係

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1－1

(3) 出願書類

次の書類等を取りそろえ，下記に提出してください。◆印の書類は，農学研究科ウェブサイト（https://www.ans.kobe-u.ac.jp/jyukensei/siken03.html）にて所定様式をダウンロードしてください。

【出願書類一覧】

「Web出願サイトでの手続」に○がある書類は PDF（顔写真データのみjpg，png，bmp またはheic 形式）にして，Web出願サイトへアップロードしてください。

書類名	Web出願サイトでの手続	書面による提出	内容
(A) 顔写真データ	○	－	Web 出願サイトの指示に従い，アップロードしてください。（上半身脱帽，正面向き，無背景，出願前 3 ヶ月以内に単身で撮影した鮮明なもの，jpg，png，bmp またはheic 形式） なお，顔写真データは，受験票に使用し，受験時に本人照合を行います。 顔写真データが加工や修正により，本人と同一人物であるか確認ができない場合は，受験を続けることができない場合があります。
(B) 修了見込証明書	－	○	前期課程（修士課程）の修了見込証明書
(C) 成績証明書	－	○	前期課程（修士課程）の成績証明書
(D) 研究経過報告書等◆	○	－	a) 研究経過報告書 研究経過報告書：和文2,000字程度又は英文1,200語程度のもの。本研究科所定の様式を用いて作成しPDFファイルにしてください。本研究科所定様式以外で作成する場合は，本研究科所定の様式1ページ目（表紙）を追加した１つのPDFファイルとしてください。(PDFファイルのサイズは最大10MBとします。) PDFファイルをWeb 出願サイト【ファイルアップロード１】にアップロード提出してください。 b) 上記以外の参考資料があれば，PDFファイルとしたうえで，【ファイルアップロード３】以降にアップロード提出してください。(PDFファイルのサイズは最大10MBとします。)
(E) 研究計画書◆	○	－	和文2,000字程度又は英文1,200語程度のもの。 どのような分野でどのような内容のことを研究しようとしているのかが分かるように記載してください。 本研究科所定の様式を用いて作成しPDFファイルにしてください。本研究科所定様式以外で作成する場合は，本研究科所定の様式1ページ目（表紙）を追加した１つのPDFファイルとしてください。(PDFファイル

			のサイズは最大10MBとします。） PDFファイルをWeb 出願サイト【ファイルアップロード２】にアップロード提出してください。
(F) 住民票	－	※	※外国人の志願者は，市区町村長の発行する住民票を提出してください。

〔注意事項〕

(1) 志願者は，Web出願サイトに希望する指導教員名を入力してください。Web出願サイトに指導教員名の入力がない場合，出願は受理されません。また，志願者は指導教員予定者と事前に密接な連絡をとり，研究計画書を作成してください。

(2) 出願手続後は，記載事項の変更を認めません。

4. 受験票

受験票は，出願書類等を受付後に，Web 出願サイトのマイページからダウンロードしてください。ダウンロードが可能になった時点で，Web 出願サイトに登録したメールアドレス宛に通知メールを配送します。

なお，令和9年3月1日（月）までにメールが到着しない場合は，本研究科教務学生係に問い合わせてください。

5. 選考の方法

進学者の選考は，学力検査及び提出書類を総合して行います。

学力検査は，口頭試問・質疑応答等によって，以下を中心として行います。

(1) 研究経過報告書の内容
履修に必要な基礎学力を有しているかどうかを検査します。

(2) 英語の能力（外国の大学を卒業した外国人の志願者については英語及び日本語）
履修に必要な語学力を有しているかどうかを検査します。

(3) 研究計画書の内容
学位取得に見合う研究計画であるかを審査します。

6. 口頭試問の日時及び場所

口頭試問の日	場　所	集合時間等
令和9年3月10日（水）	神戸大学大学院 農学研究科学舎	各志願者の口頭試問の場所と時間は，後日，別途通知します。

※事情により遠隔（オンライン）での実施を希望する場合は，事前に指導教員予定者に相談すること。理由によっては認められる場合があります。

7. 合格者発表

令和9年3月19日（金）17：00（予定）

農学研究科ホームページ（https://www.ans.kobe-u.ac.jp/jyukensei/top.html）で発表するとともに，合格者には「合格通知書」を送付します。

なお，電話による照会には応じません。

8. 進学手続

(1) 進学手続期日・進学手続書類等
進学手続期日は令和9年9月中旬の予定です。その詳細については，進学手続に必要な書類等と併せて合格発表時に通知（郵送）します。

(2) 進学手続場所
神戸大学大学院農学研究科教務学生係

〔注意事項〕

(1) 次に該当する者は，進学を取り消されることがあります。

(A) 虚偽の申告をした場合

(B) 上記の進学手続を完了しなかった場合

(C) 令和9年9月30日までに修士の学位又は専門職学位を授与されなかった場合

(2) 後期分の授業料

授業料：（半期分）267,900円，（年額）535,800円　（令和8年度の例）

※在学中に授業料の改正が行われた場合は，新授業料が適用されます。

(3) 出願時において国費外国人留学生で，進学後も引き続き国費外国人留学生である者は授業料納付の必要はありません。

9．その他

(1) 授業料免除

次のいずれかに該当し，授業料の納付が困難な場合は，本人の申請に基づいて選考の上，授業料の全額又は半額が免除される制度があります。

(A) 入学前1年以内に，学資の負担者が死亡し，又は申請者本人もしくは学資の負担者が風水害等の災害を受けた場合

(B) 申請者本人が学業優秀で，かつ，経済的理由により授業料の納付が困難な場合

(2) 個人情報について

(A) 本学が保有する個人情報は，「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに，「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する指針」等に基づき厳密に取扱います。

(B) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は，入学者の選抜（出願処理，選抜実施），合格発表，入学手続業務,今後の入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究のために利用します。なお，調査・研究及び結果の発表に際しては，個人が特定できないように処理します。

(C) 出願にあたってお知らせいただいた個人情報は，入学者についてのみ入学後の学生支援関係（健康管理，授業料免除及び奨学金申請等），教務関係（学籍，修学指導）等の教育目的及び授業料等に関する業務並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。

(D) 一部の業務を本学より委託を受けた業者（以下，「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託にあたっては，受託業者に対して，委託した業務を遂行するために必要となる限度で，お知らせいただいた個人情報の全部又は一部に守秘義務を課して提供します。

＊ 応募に際して不明な点があれば，下記へお問い合わせください。

神戸大学大学院農学研究科教務学生係
〒657-8501　神戸市灘区六甲台町1－1
TEL　(078)-803-5928
FAX　(078)-803-5932
E-mail　ans-kyomu@office.kobe-u.ac.jp

Web出願の流れ

神戸大学

出願完了までの流れは、以下の通りです

STEP 1 事前準備
STEP 2 出願サイトにアクセス
STEP 3 マイページの登録
STEP 4 出願内容の登録
STEP 5 検定料の支払い
STEP 6 必要書類の郵送
STEP 7 出願完了
受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…証明書、写真など



STEP 2 Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ https://e-apply.jp/ds/kobe-u/



STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 > を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。

※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをクリックしてください。

STEP 4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部・研究科等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報（氏名・住所等）の
入力および必要書類の
アップロード



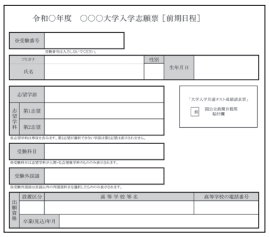
⑥出願内容の確認
入学願書（サンプル） ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
（イメージ）
※検定料納入後に出力可能となります。

申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 メモ（13桁）													

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ（11桁）											

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ（11桁）											

確認番号 メモ（6桁）						

収納機関番号 （5桁）	5	8	0	2	1

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。　※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

STEP 5

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
セイコーマート

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi
LAWSON
MINISTOP
マルチコピー機
FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン	デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー	ローソン ミニストップ	ファミリーマート	セイコーマート
店頭レジ	店頭レジ	Loppi	マルチコピー機	店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える	レジで「オンライン決済」と伝える	「各種番号をお持ちの方」を選択	「代金支払い/チャージ(コンビニでお支払い Payment/Charge)」を選択	レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号(13桁)」を伝える	「オンライン決済番号(11桁)」を伝える	「お客様番号(11桁)」入力	「お客様番号(11桁)」入力	「オンライン決済番号(11桁)」を伝える
		「マルチペイメントサービス」を選択		
		「確認番号(6桁)」入力	「確認番号(6桁)」入力	
		支払い内容確認	支払い内容確認	
レジで検定料を現金で支払う※		発券された申込券(受付票)をレジへ持参し、検定料を現金で支払う※ 申込券(受付票)発行後は30分以内にレジにて支払ってください。		レジで検定料を現金で支払う※
領収書(レシート形式)を必ず受け取る		払込受領証または受領書(レシート形式)を必ず受け取る		

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM
ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号(11桁)」入力
「確認番号(6桁)」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※
ご利用明細書を必ず受け取る

※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP 6

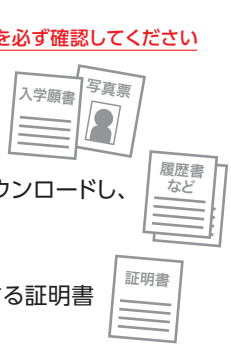
必要書類の印刷と郵送

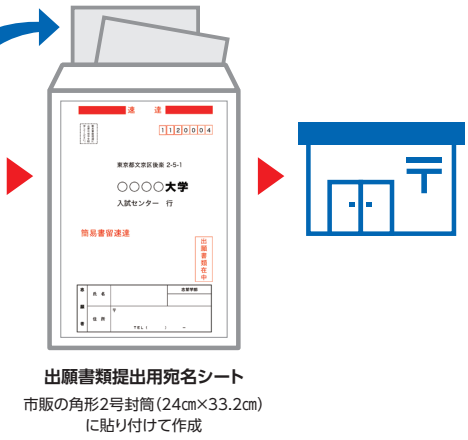
郵送が不要な研究科もあります。郵送が不要な場合は、STEP7に進んでください。

出願登録、検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から**「簡易書留・速達郵便」**で郵送してください。

出願に必要な書類　⚠ 募集要項を必ず確認してください

- ●Web出願サイトから印刷する書類
- ●本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類
- ●出身大学・大学院等に発行を依頼する証明書





出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒（24㎝×33.2㎝）に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。
Webでの登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。
それぞれの期限は各学部・研究科の学生募集要項を参照してください。

Web出願は24時間可能です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 7

受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにWeb出願サイトにログインし、各自でA4用紙にカラー片面印刷をして試験当日に持参してください。



専攻及び講座の内容

(1)食料共生システム学専攻

発展途上国における人口爆発や地球環境問題の深刻化に伴い，近未来における世界の食料供給が不安視されています。特に，著しく低い我が国の食料自給率は，食料の安定的な供給システムの創成を必要としています。食料共生システム学専攻では，食料の生産者と消費者が環境保全型持続社会を通して共生するための生産基盤構築から流通・消費に至る全プロセスの体系化を目的とした教育研究を行います。食料や環境に関する幅広い知識・技術を備え，公共部門および民間部門で活躍できる人材を養成するため，食料共生システム学専攻に生産環境工学及び食料環境経済学の2講座を設けています。

令和8年10月1日現在

講座		教育研究分野		担当教員	
名称	内容	名称	内容		
生産環境工学	農業生産環境の構成要素である水資源・土地資源の利用と保全，作物の栽培管理・収穫・加工に関する機械装置の開発などの農業工学分野の教育研究を行います。	水環境学	河川流域の水循環機構および水量・水質の両面から見た水環境特性の把握，流域における水循環と物質循環のモデル化と水資源管理への応用に関する教育研究を行います。	多田　明夫 田中　健二	教授 助教
		土地環境学	農地や農村のきれいで安全な環境づくりを目指して，ため池やパイプラインを含む農地，農道，水路などの農業水利施設の合理的な設計施工，災害防止の方法や手段に関する教育研究を行います。	澤田　豊 園田　悠介	教授 助教
		施設環境学	水，土，水利施設などからなる農業地域システムの好適創造を目指して，水の動きの解析，地下水力学，水と土の相互作用，水利施設の調査・計画・設計・保全に関する教育研究を行います。	井上　一哉 鈴木　麻里子	教授 准教授
		地域共生計画学	日本と世界の農業・農村環境は今急速に変化しています。様々な空間・時間スケールで環境と社会を分析し，持続的な資源管理と制度設計を模索します。	長野　宇規	准教授
		農産食品プロセス工学	農産資源および食品を対象とした物質変換，加工処理およびバイオプロセッシングに関する理論と技術，バイオマスエネルギー利用，生産から消費，廃棄に亘るフードチェーンの管理システムに関する教育研究を行います。	井原　一高 吉田　弦	教授 准教授
		生物生産機械工学	主として土地利用作物及び果樹園芸におけるスマート農業技術の開発を行います。特に農業機械，ロボットなどに搭載したセンシングデータの解析技術，および農業生産現場で利活用可能な農業DXの構築や社会実装についての教育研究を行います。	森本　英嗣 イ　ジェファン	准教授 助教
		生物生産情報工学	主として閉鎖系空間における生産と収穫後処理を包含する生物生産システムを対象とし，工学的手法による成育中及び貯蔵中に作物が示す応答特性の非破壊計測と理論的解明，得られた結果を生産現場にフィードバックするための統合生産システムについて教育研究を行います。	伊藤　博通	教授
		圃場機械・栽培学	主としてフィールドにおける作物の栽培システムを対象とし，栽培技術と作物特性の理解に基づく農業機械の設計開発と実証を行い，日本国内のみならず国際的にさまざまな栽培環境下での応用を視野に入れた教育研究を行います。	庄司　浩一 ◇	教授
食料環境経済学	グローバルな食料・農業・農村・環境問題を解決するための政策や実践，農業経営や農村の持続的発展，食料の流通や消費者行動，フードセキュリティなどに関する社会科学的な教育研究を行います。	食料経済・政策学	国内外の農林水産・食料関連ビジネス，農林水産物や食品の生産・加工・流通・消費，都市農村交流やツーリズム，それに関わる政府・企業・住民組織などの問題発見と解決のプロセスに着目しながら持続可能な経済システムと政策のあり方を解明する教育研究を行います。	髙田　晋史	准教授
		農業農村経営学	農産物・食料を持続的かつ効率的に生産・供給していくための農業経営や地域資源管理のあり方や，農山村地域の維持・発展に関して，経営学や社会学などの考え方や分析方法による理論的・実証的な教育研究を行います。	中塚　雅也 小川　景司	教授 助教
		国際食料情報学	子どもや高齢者の食行動・食意識，貧困世帯や社会的弱者のフードセキュリティ，貧困と格差，フードシステム，農産食品マーケティング，農村開発などに関する国内外の社会調査データを用いた実証的研究，および社会調査や統計データなどの統計処理法に関する教育研究を行います。	石田　章 八木　浩平	教授 准教授

備考：◇印は附属食資源教育研究センター所属の教員。

(2)資源生命科学専攻

食料や産業用原料となる動物や植物は，人類生存の鍵を握る重要な生物資源です。資源生命科学専攻では，有用な動物，植物，微生物とそれらの 相互関係について，遺伝子・個体・集団・種・生態系レベルで基礎から応用に至るまでの教育研究を進めるとともに，生物資源の管理・利用と食料の効率的で持続可能な生産技術の開発，さらには安全・安心な食料生産に関わる教育研究を推進しています。これによって，高度な専門的知識と総合的な思考力をもち，食料生産から先端バイオ分野までの幅広い領域を担うことのできる人材を養成します。資源生命科学専攻には応用動物学講座と応用植物学講座の2講座が設けられており，それぞれ動物と植物を中心にした教育研究を展開しています。

令和8年10月1日現在

講座		教育研究分野		担当教員	
名称	内容	名称	内容		
応用動物学	遺伝学，生化学，形態学，免疫学的手法を基に，動物に関わる生命現象および動物の有する多様な機能とその制御機構を集団・個体・細胞・分子レベルで総合的に理解し，動物資源を有効，安全かつ安定的に利用するための教育研究を行います。	動物遺伝育種学	動物の多様な特性の発現を支配する遺伝的メカニズムの解明や遺伝的能力の評価と開発を通じて，動物機能を有効に利用するとともに，遺伝資源の探索と多様性の保全に関する教育研究を行います。	万年　英之 笹崎　晋史 川口　芙岐	教授 准教授 助教
		生殖生物学	哺乳類での生殖細胞の形成や機能発達に関わる細胞内シグナル伝達機構や分子・細胞レベルでの生殖細胞特有の制御機構に関する教育研究を行います。	原山　洋 京極　博久	教授 准教授
		発生工学	哺乳類の配偶子形成や受精・胚発生に関わる分子・細胞レベルでの制御機構の解明と，発生工学的な新規手法の確立に関する教育研究を行います。	李　　智博	准教授
		栄養代謝学	遺伝子から個体レベルにわたる栄養素の代謝調節機構の分子生物学的な解明と，それに基づく分子栄養学的制御ならびに機能開発に関する教育研究を行います。	本田　和久 實安　隆興 竹垣　淳也	教授 准教授 助教
		動物分子形態学	生命科学の基盤をなす形態学の膨大な知見と最新の分子生物学的知見とを融合し，分子から生体までの幅広い分野を包含する教育研究を行います。	横山　俊史	助教
		組織生理学	動物体の基本的構成要素である細胞や，これによって構築された各種組織の複合的な活動の結果として生じた様々な生理学的機能発現のメカニズムに関する教育研究を行います。	万谷　洋平	准教授
		感染症制御学	動物や人の感染症の原因となる病原微生物について，生態学，疫学，感染発病機構ならびに防御機構の面から幅広く探究することを目的とした教育研究を行います。	宗田　吉広 佐伯　圭一 松尾　栄子	教授 准教授 助教
		動物遺伝資源開発学	持続的食料生産を担う効率的育種プログラムの策定を目指し，量的遺伝学および集団遺伝学的手法による動物遺伝資源の評価・利用に関する教育研究を行います。	大山　憲二　◇ 本多　　健　◇	教授 助教
		細胞情報学	生理活性物質やストレス・栄養変化といった外界環境からの入力が細胞の機能を制御する仕組みに関する教育研究を行います。	中嶋　昭雄　▲ 蜷川　暁　▲	准教授 准教授

備考:◇印は附属食資源教育研究センター所属の教員。

備考:▲印はバイオシグナル総合研究センター所属の教員。

令和8年10月1日現在

講座		教育研究分野		担当教員	
名称	内容	名称	内容		
応用植物学	日常生活を支えている資源植物である食用作物，園芸植物，産業用植物及び樹木の生理，生態，遺伝学的特性を理解し，それらの生産性と品質の向上を目指した教育研究を行います。	資源植物生産学	安全で持続性のある農業生産を確立するため，食用および産業用資源植物の生理生化学的・分子生物学的な機能解析を行い，資源植物の生産性向上を目指した教育研究を行います。	深山　浩 畠中　知子 笹山　大輔	教授 准教授 准教授
		植物育種学	農業上有用な遺伝子の検出と同定ならびに形質発現作用の解明を通じて，新たな育種素材の開発と育種効率の改善を目標とした教育研究を行います。	石井　尊生 石川　亮 沼口　孝司	教授 准教授 助教
		森林資源学	森林生態学，樹木生理学・組織学，森林病理学などの基礎知識をもとに，森林や樹木の機能を解明し，森林資源の保全と管理に貢献する教育研究を行います。	石井　弘明 東　若菜	教授 准教授
		園芸植物繁殖学	園芸植物の繁殖様式は，受粉・受精・種子形成の過程を経る種子繁殖と，それを経ない栄養繁殖に大別され，種子形成過程は果実の結実にも関連する。繁殖のメカニズムを解明・制御することで，種苗生産と果実生産に貢献するための教育研究を行います。	安田(高崎)剛志 藤本　龍	教授 教授
		園芸生産開発学	園芸作物の生産性と有用性を高めることを目的とし，環境ストレス耐性や機能性を備えた品種の育成と，光利用効率や作業性を高める施設栽培法の構築を行うことで，植物の機能開発と栽培のシステム開発に貢献する教育研究を行います	宇野　雄一 小山　竜平	教授 助教
		園芸生理生化学	果樹，野菜，花卉などについて，その生育から収穫・貯蔵期にわたり，基本的な炭素や窒素の代謝をはじめ，二次代謝物も含めた代謝生理について，分子生物学的および生化学解析を行い，高品質な園芸作物の生産・流通・貯蔵に貢献するための教育研究を行います。		
		熱帯有用植物学	熱帯の様々な環境で生育している植物の適応メカニズムについて，分子から生体レベルまでの幅広い視野で解明することにより熱帯有用植物の生産安定を目指した教育研究を行います。	東　　哲司	教授
		植物遺伝資源開発学	持続的食料生産を担うため，効率的育種プログラムの策定と新規育種素材の開発を目指し，植物遺伝資源の探索・収集・保存・評価・管理・利用に関する教育研究を行います。	吉田　康子 ◇ 上森　真広 ◇	助教 助教
食料生産フィールド科学(連携)		食料生産フィールド科学	病害虫，環境，生物工学分野の実用的な技術開発と実証・実践を通じて，安定的かつ安全・安心な食料生産を目指した教育研究を行います。	廣田　智子 杉本　琢真	客員教授 客員准教授

備考：◇印は附属食資源教育研究センター所属の教員。

(3)生命機能科学専攻

食と農に関わる生物の多様な機能と現象を分子レベルから生態系まで多面的に捉えて解析する能力を持ち，農作物，食品・化学・医薬等に関連したバイオ産業の発展や農環境の保全と創造など，生物とその機能の利用，開発，制御を通じて21世紀のバイオ社会を支える人材を育成します。特に，専門領域を対象に視点に幅を持たせ，食品系，化学系，生物系など，実際の進路選択も念頭に置いた体系的な講義カリキュラムを提供することにより，優れた科学的思考力と実験力，表現力を涵養します。このため，生命機能科学専攻に応用生命化学及び応用機能生物学の2講座を設けています。

令和8年10月1日現在

講座		教育研究分野		担当教員	
名称	内容	名称	内容		
応用生命化学	生物が摂取・産生する物質や生物を取り巻く環境中の物質構造と作用，及び多様性に富んだ生命システムを分子レベルで解明し，これらを利用，合成，制御，開発するための教育研究を行います。	生物化学	生命現象を分子レベルで解明するため，遺伝子発現調節と細胞内シグナル伝達機構，細胞内オルガネラの機能，機能タンパク質の構造機能相関等について，バイオテクノロジーへの応用も視野に入れた教育研究を行います。	宇野　知秀 金丸　研吾 林　大輝	教授 准教授 助教
		食品・栄養化学	食品に含まれる栄養成分と非栄養成分が，間接的あるいは直接的に情報伝達系を介してヒトの体を機能調節する機構を個体レベルから分子レベルにおいて解明し，機能性食品への開発も含めた教育研究を行います。	榊原　啓之 橘本　堂史 藍原　祥子	教授 准教授 助教
		天然有機分子化学	生物活性を有する天然有機分子の化学合成法の開発や有機合成手法による化学構造と生物活性の相関関係の解明を目指した教育研究を行います。	久世　雅樹 姜　法雄	教授 助教
		有機機能分子化学	有用有機化合物を効率的に供給する手段としての有機化学に関する研究を行い，特に，環境への負荷の小さい，環境調和型の新有機合成反応の開発を目指した教育研究を行います。		
		環境分子物理化学	多様な環境で生息する光合成生物を対象として，光受容タンパク質の構造機能相関を分子レベルで理解・応用することにより，エネルギー資源・環境問題の解決を志向した教育研究を行います。	木村　行宏	教授
		植物機能化学	植物二次代謝産物の化学構造・生合成・作用機構，および植物と周囲の生物との相互作用ならびに環境応答を，解明・解析することを通して，植物機能の理解と応用に関する教育研究を行います。	水谷　正治 山内　靖雄 秋山　遼太	教授 准教授 助教
		動物資源利用化学	動物資源としてのタンパク質と脂質に着目し，その生体内での機能を調べることにより，品質管理や病気などの様々な新規マーカーの創生と，機能性食品やヘルスケア商品の開発，さらには創薬への応用を目指しています。とくに，マウスや培養細胞を用いて，情報伝達や腸内細菌叢に着目して研究を行っています。	白井　康仁 上田　修司 福田　伊津子	教授 准教授 助教
		微生物資源化学	微生物資源の利活用を目的として，自然界から有用微生物を探索し，その酵素系や遺伝子群の特性を明らかにするとともに，それらを物質変換や環境改善へ応用する教育研究を行います。	竹中　慎治	教授
		生物機能開発化学	生物の優れた機能や機能分子を見出し，その作用機構を解明することで，健康・食糧・環境に関わる諸問題の解決に向けた教育研究を行います。	山下　陽子 大澤　晋	准教授 助教

令和8年10月1日現在

講座		教育研究分野		担当教員	
名称	内容	名称	内容		
応用機能生物学	多様な生物が農環境（農業生態系）で織り成す生命現象を解明し，農環境の健全性を保ちながら持続可能な生物生産システムを創造するための教育研究を行います。	土壌学	地球温暖化や気候変動に大きな影響をもたらす土壌生態系における炭素循環プロセスを理解するために，土壌や河川・湖沼中の有機物の質と量を解析しています。また，これらの有機物の機能性に着目し，環境保全・修復への活用法の策定をも目指した教育研究を行います。	藤嶽　暢英 木田　森丸 鈴木　武志	教授 准教授 助教
		植物栄養学	植物成長の鍵となる光合成および無機養分の生理的営みを解明することを目的に，生理生化学的・分子生物学的手法を用いて新規な事実を明らかにするための研究技術・思考法を身につける，かつ，それらをバイオマス増産に役立てる教育研究を行います。	三宅　親弘 竹内　航	教授 助教
		植物遺伝学	植物の遺伝機構に関する教育研究を、分子、細胞、個体、集団、ゲノムを対象として行います。特に、農業生態系における種形成のメカニズムの解明を目指します。また、基礎研究から得られた知見を応用的に展開し、環境と調和した作物生産システムの構築に貢献できる人材を育てます。	松岡　由浩 妻鹿　良亮	教授 准教授
		栽培植物進化学	栽培化を経て生まれた栽培植物は，以降人類との共生関係を築いてきました。当分野では遺伝学，生態学，フィールド科学など多元的な教育研究を重視し，栽培化に関与した遺伝子の同定とその機能の解明を通じた栽培植物や近縁野生種の多様性と進化機構の理解を目指します。	*森　　直樹	教授
		細胞機能構造学	生物の基本単位は細胞にあります。農作物に限らずあらゆる生物が持つ機能を人間社会で有効に利用するためには，細胞の機能や構造に関する知見が必須です。当教育研究分野では，特に真核微生物（主に糸状菌）を材料として，分子生物学と電子顕微鏡等を用いた細胞学により，エピジェネティックな遺伝子制御機構や植物への感染機構の解明に関する研究を進めています。	中屋敷　均	教授
		環境物質科学	生命・農環境およびヒト環境中の多様な生体物質および環境負荷物質の挙動に注目が集まっています。これら環境負荷物質に対し，応用遺伝子工学的手法，応用生物工学的手法を駆使した研究と実証・実践を通じ，安全・安心な生命環境を目指した教育研究を行います。	*今石　浩正　▲ 乾　　秀之　▲	教授 准教授
		細胞機能制御学	生命現象における「細胞の機能と制御」について理解するため、シグナル伝達、エネルギー変換など生命活動に重要な役割を多く果たしている生体膜に注目し、その分子機構の解明と社会への応用に向けた教育研究を行います。	森垣　憲一　▲	教授
		植物病理学	植物病原微生物の病原性機構，植物の抵抗性機構，ならびに両者の相互作用のダイナミクスを生理・生化学，遺伝学，分子生物学などのさまざまな手法を用いて解析し，植物の病理現象の理解に向けた教育研究を行います。	池田　健一 足助　聡一郎	准教授 助教
		昆虫分子機能科学	昆虫の多様性と特異性を，人を始め他の動物との比較の中から解明し，昆虫の形態形成や行動，生理機能を制御するメカニズムを，分子的，物質的なレベルで明らかにし，害虫防除や有用昆虫の資源利用の道を探る教育研究を行います。	坂本　克彦　▲	教授
		昆虫多様性生態学	植物の宿敵あるいはパートナーとして長い共進化の歴史を持つ昆虫について，その多様性，生態系機能および植物や微生物との相互作用を理解し，害虫抑制，花粉媒介，物質循環，文化的価値など，昆虫による生態系サービスを増進するための教育研究を行ないます。	杉浦　真治	教授

備考：▲印はバイオシグナル総合研究センター所属の教員。

備考：*印は令和9年3月で退職予定の教員。